



hvc
human health care

株主通信

2017年度第2四半期報告

エーザイ株式会社



AFUTUREFREEOFLF
GlobalAlliance

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア症
制圧活動を支援しています。

株式に関するメモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) (平日 9:00~17:00 オペレーター対応)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京(証券コード:4523)
公告方法	電子公告により行う http://www.eisai.co.jp/fr/index.html ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて株式 をお持ちの場合	特別口座* の場合
住所変更	お取引のある証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
単元未満株式の 買取・買増請求		
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の 受取方法	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 TEL:0120-232-711 (通話料無料)	

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていなかった株主様の株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。

株式に関するお問い合わせ先

エーザイ株式会社 総務・環境安全部 株式グループ
TEL:0120-501-217
(平日 9:00~17:00 通話料無料)

株式の状況

(2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	296,566,949株
うち自己株式数	10,340,962株
株主数	63,629名

大株主の状況

(2017年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	31,667	10.68
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	27,445	9.25
JP MORGAN CHASE BANK 385147	15,038	5.07
日本生命保険相互会社	12,281	4.14
株式会社埼玉りそな銀行	7,300	2.46
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理 サービス信託銀行株式会社	5,437	1.83
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	4,839	1.63
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	4,519	1.52
公益財団法人 内藤記念科学振興財団	4,207	1.42
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口7)	3,958	1.33

*持株数は切捨表示しております。

*持株比率は自己株式を含む発行済株式数に対する割合として算出しております。

*自己株式10,340千株(3.49%)は、議決権がないため除いております。

*表中の株主名は、2017年9月末時点の株主名簿で確認できた名義のみ記載しております。

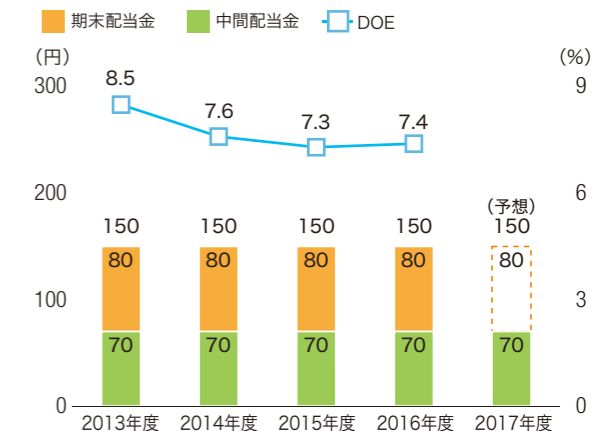
株主還元

株主還元については、健全なバランスシートのもと、連結業績、DOE*およびフリー・キャッシュ・フローを総合的に勘案し、シグナリング効果も考慮して、株主の皆様へ継続的・安定的に実施します。DOEは、連結純資産に対する配当の比率を示すことから、バランスシートマネジメント、ひいては資本政策を反映する指標の一つとして位置づけています。自己株式の取得については、市場環境、資本効率等に鑑み適宜実施する可能性があります。なお、健全なバランスシートの尺度として、親会社所有者帰属持分比率、負債比率(Net DER)を指標に採用しています。

2017年度第2四半期の中間配当金は、1株当たり70円(前年同期と同額)とさせていただきます。なお、期末配当金は、80円(年間配当金150円)を見込んでいます。

* DOE(親会社所有者帰属持分配当率)
=配当金総額÷親会社の所有者に帰属する持分

配当金およびDOEの推移



配当金の口座振込制度

配当金のお受け取りは、口座振込のご利用が便利です。口座振込をご指定いただけますと、配当金支払開始日にご指定の証券会社の口座や銀行口座に配当金をお支払いいたしますので、安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。

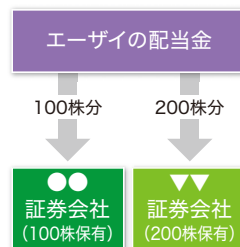


株式数比例配分方式

証券会社の口座で配当金をお受け取りいただけます。

メリット 配当金と保有株式を証券会社の口座で一元管理できます！

- 複数の証券会社で当社株式を保有している場合、証券会社ごとの保有株式数に応じた配当金がそれぞれの証券会社の口座に入金されます。
- NISA口座での保有株式の配当金を非課税とするためには、この方式をご利用いただく必要があります。
- 保有株式の一部が特別口座*に記録されている場合などには、この方式は選択できません。



登録配当金受領口座方式

保有する全ての銘柄の配当金を、指定した1つの銀行口座でお受け取りいただけます。

メリット 全ての銘柄の配当金をまとめて管理できます！

- 1つの銘柄について振込先指定の手続きを行えば、自動的に他の銘柄の配当金も同一の銀行口座で受領できます。
- ゆうちょ銀行の貯金口座は指定できません。



個別銘柄指定方式

保有する銘柄ごとに指定した銀行口座で配当金をお受け取りいただけます。

メリット 銘柄ごとに配当金の受領先を選択できます！

- 銘柄ごとに振込先指定の手続きが必要となります。
- 当社は、ゆうちょ銀行の貯金口座への振込指定も可能です。



<お問い合わせ先>

証券会社にて株式をお持ちの株主様
▶▶お取引のある(口座を開設されている)
証券会社

特別口座にて株式をお持ちの株主様
▶▶三菱UFJ信託銀行 証券代行部
0120-232-711(通話料無料)

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていない株式は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に当社が「特別口座」を開設して記録、管理しています。



株主の皆様には、日頃よりご指導、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2017年度第2四半期決算と経営の状況をご報告申し上げます。

代表執行役CEO

内藤 晴夫

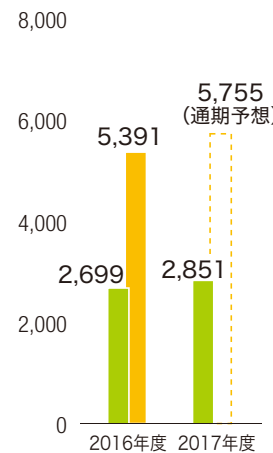
- ▶ 売上収益は、抗がん剤「ハラヴェン」、「レンピマ」、ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」および抗てんかん剤「フィコンパ」が拡大したことにより、全体では2,850億73百万円(前年同期比5.6%増)となりました。
 - ▶ 営業利益は、増収により売上総利益が増加した一方、 β サイト切断酵素阻害剤「E2609」などのアルツハイマー病領域およびがん領域の開発テーマへの積極的な研究開発投資を行ったほか、前年同期にEAファーマ株式取得に伴う一時収益(割安購入益)を計上した反動により、277億33百万円(前年同期比28.1%減)となりました。四半期利益は、203億58百万円(前年同期比31.2%減)となりました。(前回予想より60億円増)
 - ▶ 中間配当金は、1株当たり70円(前年同期と同額)とさせていただきます。なお、期末配当金は、80円(年間配当金150円)を見込んでおります。
- 株主の皆様には、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第2四半期決算の概況【IFRS(国際会計基準)】

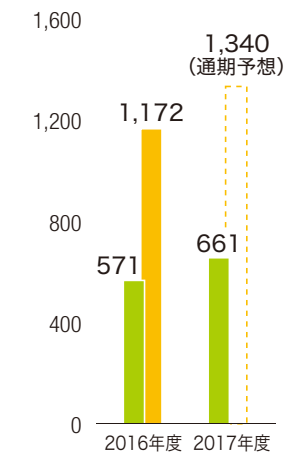
■ 通期 ■ 第2四半期(累計)

(数字は四捨五入表示)

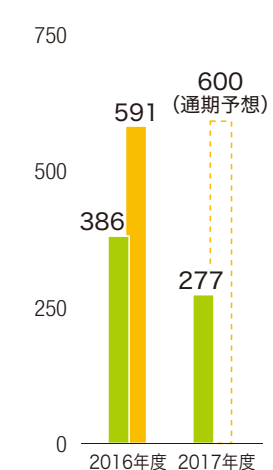
売上収益 (単位:億円)



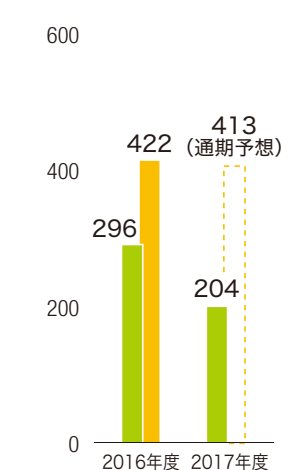
研究開発費 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)

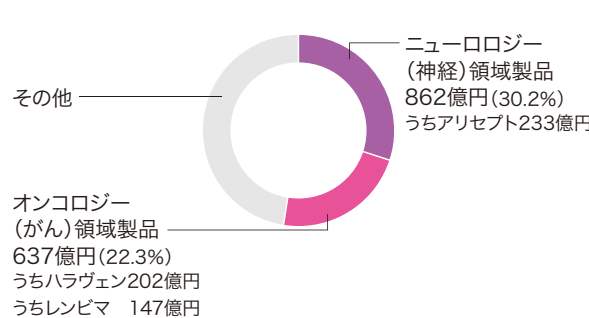


四半期(当期)利益 (単位:億円)

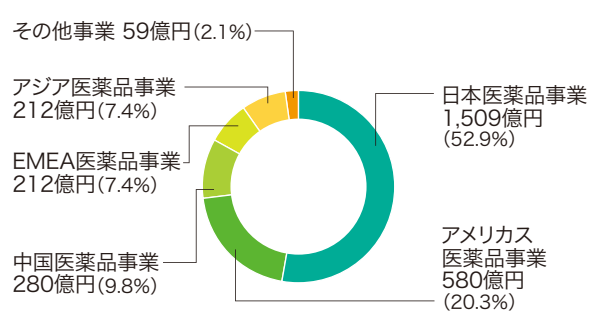


*本株主通信に記載されている予想および計画等は、さまざまな不確定要素(経済情勢、薬事制度、研究開発上のリスク、製造承認許可など)により変動するものであることをご了解願います。

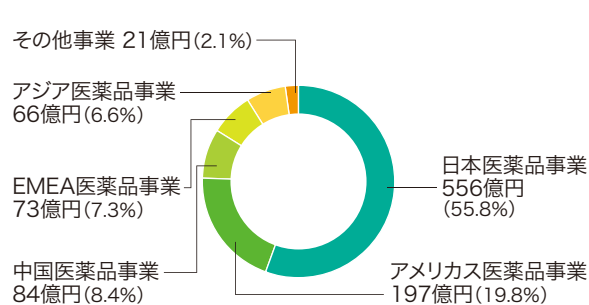
領域別売上収益 ()内は構成比



報告セグメント別売上収益 ()内は構成比



報告セグメント別利益 ()内は構成比



*研究開発費(661億円)、親会社の本社管理費等(60億円)は、報告セグメント別利益に配分していません。

開発品の状況

2017年4月以降、開発ステージに進捗があった開発品は以下のとおりです。(2017年10月末現在)

領域	製品名、開発品コード	剤形	概要	地域	開発状況			
					フェーズII	フェーズIII	申請	承認
神経	フィコンパ (E2007)	経口	抗てんかん剤/【効能追加】部分てんかん単剤療法	米国				7月
				日本				
がん	ハラヴェン (E7389)	注射	抗がん剤/乳がん	中国			*1	
	レンビマ (E7080)	経口	抗がん剤/【効能追加】肝細胞がん	日米欧中				
消化器	パリエット (E3810)	経口	プロトンポンプ阻害剤/【用法・用量追加】PPI抵抗性逆流性食道炎の維持療法における1回10mgの1日2回投与*2	日本				9月
	レクタブル (AJG511)	注腸剤	潰瘍性大腸炎治療剤/潰瘍性大腸炎*3	日本				9月

*1 再申請準備中 *2 EAファーマと共同開発 *3 EAファーマとキッセイ薬品の共同開発
(注)アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤「アリセプト」について、日本でフェーズIIにありましたダウン症候群の退行様症状を対象とした開発を中止しました。

▶「フィコンパ」について米国で部分てんかんの単剤療法に関する承認を取得

2017年7月、自社創製の抗てんかん剤「フィコンパ」について、米国FDA(食品医薬品局)より、12歳以上のてんかん患者様の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する単剤療法での使用に関する承認を取得しました。今回の承認により、米国では、12歳以上のすべての部分てんかんを有する患者様に投与が可能となりました。



▶「レンビマ」の肝細胞がんに係る適応を申請

2017年6月に日本、同年7月に米国および欧州、同年10月に中国で、自社創製の抗がん剤「レンビマ」について、肝細胞がんに係る適応での承認申請を行いました。臨床試験において、全生存期間について標準治療薬に対して統計学的な非劣性を証明し、初めて主要評価項目を達成しました。当社は、「レンビマ」によるがん治療の可能性を引き続き追求し、がん患者様により一層貢献していきます。



▶個人株主説明会を全国4カ所で開催

本年も10月に名古屋、大阪、広島、福岡で、個人株主説明会を開催しました。

当社の事業概要と経営戦略について、岡田代表執行役より説明を行い、業績や株価、配当の見通し、為替の影響、次世代認知症治療剤や抗がん剤の開発状況、ジェネリック医薬品や薬価改定を含む事業環境などについて、株主様から多くのご質問をいただきました。

4会場で840名の株主様にお越しいたごき、貴重な対話の場となりました。



個人株主説明会(名古屋会場)



個人株主説明会(広島会場)

▶アルツハイマー病治療剤の開発・販売に向けた提携契約を拡大

2017年10月、バイオジェン社とアルツハイマー病治療剤の開発・販売に向けた提携契約を拡大し、アデュカヌマブ(一般名)に対する共同開発・共同販促のオプション権を行使しました。アデュカヌマブは、アミロイドβ仮説にもとづく世界初のアルツハイマー病治療剤となりうる可能性があるとして期待されています。あわせて、日本においてバイオジェン社の多発性硬化症治療剤3剤について、現在バイオジェン社が訪問していない施設に対する共同販促を行うことに合意しました。

当社は、バイオジェン社との連携を強化し、医療・社会環境整備の諸課題に取り組んでまいります。

▶お出かけ支援ツールを発売

2017年9月、当社とMAMORIO株式会社は、認知症の方や高齢者を対象とするお出かけ支援ツール「Me-MAMORIO(読み:みまもりお)」を発売しました。本機器は、インターネットを通じて位置情報を知らせる小型の電波発信機器です。本機器の普及により、認知症の方や高齢者が安心・安全に外出できる社会の実現を支援してまいります。



「Me-MAMORIO」

使用例: 付属品のシールを用い、メッセージや連絡先を記載

▶リンパ系フィラリア症の制圧に向けた支援を継続

2017年4月、顧みられない熱帯病の制圧をめざす国際官民パートナーシップ「ロンドン宣言」の5周年イベントがスイスで開催されました。当社は「ロンドン宣言」のもと、顧みられない熱帯病の一つであるリンパ系フィラリア症(LF)治療薬「ジエチルカルバマジン(DEC)錠」を2020年まで22億錠を世界保健機関(WHO)に無償で提供する契約を締結し、すでにLF蔓延国27カ国に対して約11億錠を供給しています。

2020年以降も、DEC錠を必要とするすべてのLF蔓延国において制圧が達成されるまで支援を継続してまいります。



イベントの様子 © Gates Archive/Mike Kemp



イベントで発言する内藤CEO © WHO